

国際会議から 第3回鉄道技術に関する国際会議 (Railways2016)

本会議は、車両・軌道・構造物をはじめとする鉄道に関する幅広い技術分野を対象としています。イタリア・サルデーニャ島のカリアリにて開催された今回は、バーミンガム大学(英)のBaker教授による列車の空気力学に関する歴史、ならびに、フィレンツェ大学(伊)のBracciali教授による鉄道輪軸の歴史についての基調講演を皮切りに、招待講演10件、口頭発表330件がなされました。鉄道総研からは4名が参加し、筆者は車輪・レール間の摩擦に関するセッションで、車輪フランジ乗り上がり時の車輪・レール間のクリープ力特性について発表を行いました。軌道・路盤研究室の桃谷室長は招待講演を行うとともに、レール・軌道性能の地盤工学に関するセッションのオーガナイザーを務めました。

参加者の所属は、大学、鉄道事業者、メーカー、研究開発コンサルタントなど多岐に渡りますが、とりわけ欧州の大学関係者が多く、筆者が参加した車両関連のセッションでは、実物を用いた研究に比べて、数値シミュレーションや室内実験に関する内容が多い印象でした。また、これまで本会議に複数回参加している海外鉄道事業者の方の話で



海外研究者たちとの交流
(左側が筆者)



開催地の様子
(海が美しいサルデーニャ州の州都カリアリ)



発表する筆者

土井久代
鉄道力学研究部
車両力学研究室
主任研究員

は、回を重ねるごとに内容が充実してきているということです。自身の発表時の議論を含め、海外の研究者とセッション内外で意見交換や今後につながる交流を深めることができ、貴重な場となりました。

2018年に予定されている次回は、1993年に第1回が日本で開催された国際会議STECH2018(第8回)との共同開催となることがアナウンスされました。

正式名称：The Third International Conference
on Railway Technology : Research,
Development and Maintenance

開催国：イタリア(カリアリ)

期間：2016/4/5-8

主催：Civil-Comp Press

開催頻度：隔年

次回開催予定：2018年

(時期, 場所未定, STECH2018と共同開催)

ホームページURL：<http://www.civil-comp.com/conf/rw2016/rw2016.htm>